

J I C A 国際協力出前講座 活用事例 1

- 1 学校名：横浜市立下瀬谷中学校
- 2 教科等：人権教育（道徳・総合的な学習の時間）
- 3 学 年：1～3年
- 4 指導計画概要

①目標

「全ての人の人権を保障する(生命の尊厳・地球環境の保護・自ら学び高める・民主的自治活動)」

②指導計画

4月	下瀬谷中学校基本精神を学ぶ
6	①平和学習（横浜大空襲の学習） ②国際理解学習 ②-1. [事前学習] 開発途上国の飢餓の状況と私たち（ビデオ学習） *生徒会活動では校内ユニセフ募金の意識付けを行う。 ②-2. J I C A 国際協力出前講座 1年 フィリピン派遣隊員の体験談 2年 グアテマラ派遣隊員の体験談 3年 ジンバブエ派遣隊員の体験談
7	②-3. [事後学習] J I C A 作文 事前学習・出前講座を通して学んだ開発途上国や国際協力・国際理解について 思うことを作文する。 → J I C A 国際協力量中学生・高校生エッセイコンテストに応募
9	障害者理解学習
11	福祉体験学習
12	人権標語の作成
2	

5 出前講座の目的および形態

①目的

- ・開発途上国のくらしや問題などを学ぶことで、子どもたちの実生活の振りかえりをさせる。
- ・身近な事から自分たちが出来ること(例ユニセフ募金)を考えさせる。
- ・実体験を聞くことで、世界に目をむけさせる。

②形態

学年ごとに体育館で一斉に講演（全3回実施）

6 実施アンケートより（抜粋）

- ・内容を理解しやすいように写真とクイズなどを上手に取り入れていた。話し方など非常に聞きやすかった（3年）。
- ・海外で経験された話を聞くことによって、日本の暮らしを考えたり、これから何ができるか生徒が考えることができた（2年）。
- ・子どもたちから次々に質問が出ました。講師の話からもっと知りたいと子どもたちは思うようになりました（1年）。